

## 第1章 観光ビジョン策定について

### 第1節 ビジョン策定の背景

周南市は、平成15年4月21日に徳山市・新南陽市・熊毛町・鹿野町の合併により誕生し、平成17年に策定した、まちづくり総合計画において「私たちが輝く元気発信都市周南」を将来の都市像を掲げ、まちづくりをスタートしました。

観光分野においては、2市2町が取り組んできた観光振興の政策を継承、または発展させ、まちの賑わいづくりや地域の活性化に向けて事業を進めてきました。

この間、社会を取り巻く情勢は、少子高齢化の深化や非正規雇用者の増加、地方分権の進展、国・地方の財政の悪化など大きく変化してきました。

こうした中、観光による交流人口の増加が、地域経済の活性化や地域振興に大きな恩恵をもたらすという認識が広まり、各自治体は産業観光の充実や体験型イベントの実施、特産品の開発等の取り組みを進めるようになりました。

国においては、「観光の裾野の拡大」と「観光の質の向上」を策定の方向性として定められた「観光立国推進基本計画」が平成24年3月に閣議決定されました。これを受けて、国内における旅行消費額の増加、訪日外国人旅行者数の増加などを目標に掲げ、様々な施策を展開しています。また、平成26年9月に設置された、まち・ひと・しごと創生本部は「特徴を活かした魅力ある地方を創出し、地方への人の流れをつくること」を目指しています。

山口県においては、平成28年度の年間観光客数3,000万人を目標にした「やまぐち観光推進計画」を平成25年10月に策定しました。「美食王国やまぐち」や「温泉」等をコンセプトとしたプロモーション展開により宿泊・滞在型観光の増大を図ることとしており、宿泊施設や交通2次アクセス等の受入基盤の充実とコンベンション誘致の強化を図ることとしています。

本市は、市民と民間と行政がタッグを組んだオール周南で、市の観光の方向性を共有し、様々な観光施策に取り組むことで、まちの賑わいや地域の活性化に取り組みたいと考えています。

そのために、観光分野における効果的なまちづくりに向けて、体系的・総合的に整理した新たな『周南市観光ビジョン』を策定するものです。

## 第2節 観光ビジョンの位置づけと期間

### (1)位置づけ

まちづくりの総合的な計画として策定された本市の最上位計画である「第2次周南市まちづくり基本計画」の基本構想で掲げる「活力と魅力に満ちた賑わいのあるまちづくり」の実現に向けて、観光分野における分野別計画として、今後の方向性をまとめたものです。

この観光ビジョンは、本市の観光の目指すべき方向性を明らかにし、官民が協働して観光施策に取り組むための指針とするものです。

### (2)期間

本計画は、平成27年度(2015年)から平成31年度(2019年)までの5年間を計画期間とします。

